

# 平成 30 年度 白山地区センター委員会議事録

開催日 平成 30 年 6 月 21 日(木) 午後 1 時 30 分  
場 所 白山地区センター 中会議室  
参加者 連合自治会代表 2 名 連合自治会委員 10 名 学校長 1 名 教諭 1 名  
緑区役所地域振興課係長  
指定管理者:NPO 法人建物管理ネットワーク 理事長  
白山地区センター 館長 副館長 2 名

- 館長より開催の挨拶
- 指定管理者 NPO 法人建物管理ネットワーク 理事長挨拶
- 緑区役所地域振興課係長より挨拶
- 会長、副会長選出 ・正副会長会議より提案有り
- 会長挨拶～全員の自己紹介（議事進行 会長へ）

## ○ 29 年度の事業報告

### ◆館長より資料を参照しながら説明。

来館者は昨年と比べ 3,000 人程下回っている。小、中学生が減少し、高校生が増えている。利用していた中学生が卒業し、高校生になった結果と考えられる。また昨年のセンターまつりが台風の中での開催であったため、小、中学生の利用人数に影響が出たと考えられる。

一般男女の人数は団塊の世代といわれる 65 歳以上に大きくして移行している。

シニア世代の利用は多くなっている。

白山は小中学生の利用の多い館。これは例年変わらない。

男女の比率はほぼ同数。居住区別に見ると区内が 85% と多く、白山は近隣の方の利用が多い館といえる。年代別の割合も昨年と変わらない。団体利用は一般の利用が多くを占め、個人利用は小中学生が多い。

稼働率については昨年と大きくは変わらないが、中会議室の稼働は上がっている。これは夏場に冷房の効かない体育室を避け、部屋を利用して活動する団体が増えるためと思われる。

自主事業の事後グループ（読み聞かせ、フラダンス）なども中会議室を利用することが多い。

利用料も昨年と同じグラフの形になっている。利用料金は目標額を達成している。

### <予算、決算について>

概ね予算どおりに達成できている。

修繕については体育室に修繕費がかかっている。床のウレタン塗装、天井の穴の修理は安全管理上必要不可欠であった。天井の穴は個人利用時にボールを蹴り上げてできた穴。そのままにしておくと天井の資材が落下する危険があった。

センターも30年を経過しているので、木材を使った箇所にはささくれができ、とげの原因になるため、和室等の木材使用箇所には修繕が必要になってくる。防犯カメラは必要なため取付けた。ニーズ対応費は利用料の1/3を利用者に還元するものである。例年地域貢献のひとつとしてセンターまつりに使っている。また、29年度は中会議室の机を更新した。

### <自主事業報告>

センターが主催した講座の実施結果報告。

#### ・わんぱく講座

アンケートの結果からみて「とてもよかった/よかった」が97%。

「ふつう/あまりよくなかった」は3%。

参加のきっかけは学校からのおたよりが66%で保護者の目にもつきやすく、講座の参加への理解を得られるため、学校の協力をこれからもお願いしていきたい。

アンケートの感想には自己肯定の一つにつながっているものもあり、講師の先生もわかりやすい指導を心がけてくださっている。

#### ・一般講座

昨年と比べても回数、金額設定の数字は概ね「ちょうど良い」との評価を受けている。

講座の設定に関しては皆様に納得していただいていると考えている。

一般のアンケート結果は「とてもよかった/よかった」が約98%。「ふつう」が1.3%という結果だった。アンケートの結果は上記わんぱく講座同様講師に伝えて少しでも内容が向上できるように検討を重ねている。

### Q,副会長

白山は近隣住民の利用が多いとのことだが。

### A,地域振興課係長

長津田、中山などは乗り換えに近いなどアクセスが良い立地条件なので区外、市外の利用者が多いようだ。

### Q,センター委員

利用人数、地域別人数など緑区全体の資料があるとわかり易いのかも。参考資料としてあれば。

### Q,会長

今後は区の方で全体的に見て他の良いところ、苦労しているところなどの情報があるとよいが。

A,地域振興課係長

数字に関しては皆様も分かる形で工夫していく。

○30年度の事業計画

◆館長より運営目標

「今このとき、この場で この人のために」ホスピタリティー精神で運営していく。そのための研修、話し合いなどを重ねていく。

先ほど理事長より説明があったように、指定管理者は清掃のプロ集団であるので、清潔な環境づくりについては指導を受けながら実現していく。

・自主事業計画

利用者のニーズのある講座を企画していく。

健康であり続けるための事業は継続していかないといけない。運動はできないが健康を維持したい方のために、発声する講座(カラオケ、ボイストレーニング)を考えている。

白山サロンはサクソフォン&ピアノコンサートを予定している。このコンサートに出演を依頼している演者は学生時代からセンターを利用して楽器の練習をしている方。プロで活躍されていて、今回の出演依頼を快く引き受けていただいた。また、指定管理による網戸の張り替え講座、ハウスメンテナンス講座は指導が丁寧とのアンケートの回答をいただいている。

座学は歴史の学習のニーズが高く、地域の方に講師をお願いして実施している。

わんぱく講座は親子で参加できる講座を企画し、親子の絆を深めていけるように考えていく。

・ニーズ対応費

今年度も例年通りの使途を考えている。

団体利用のための使途を60%、個人利用のための使途を40%という比率で考えている。

・利用者会議、センターまつり

利用者会議は9月3日(月)午後1:30~3:00

センターまつりは10月28日(日)午前10:00~午後3:00までを予定している。

Q,センター委員

室料は利用料金という呼び方でよいか。昔は協力金と言ったが。

A,地域振興課係長

今は条例で「利用料金」という文言になっている。

Q,センター委員

部屋の冷暖房は別途料金をとっているのか。受益者負担でよいのでは。

A,館長

室利用に関しては利用料のみとしている。

Q,センター委員

自主事業はバラエティーに富んでいてとても良いが、この地域は新しい方も増えてきているので、歴史講座で地域の歴史のことを学ぶ企画をしてもらえたら良いと思っている。

各地域の歴史を学び、座学のみならず実際に出かけて行き、歩いて回れると全体のコミュニケーションも良くなる。事後グループでの仲間作りもできる。

A,館長

検討していきたい。良いアドバイスをいただけてありがたい。

Q,会長

せつかくの機会なので、中学校の様子を聞かせていただきたい。

A,鴨居中学校長

学校の中はとても穏やかで、あいさつの声が行きかっている。小学校との連携の強化を図り、皆様の耳に入るような迷惑行為は今はない。学校開放にもぜひおいでいただきたい。

子どもたちは頑張っている子が大多数。中には思春期の迷いの中にいる子もいるが子どもたちにしっかりと向き合っていく。

館長より 館の様子について

裏公園、駐輪場、駐車場に2種類の張り紙を掲示した。1枚はバイクの通行について。1枚はセンター、近隣住民への迷惑行為の禁止について。閉館以降高校生くらいの子どものバイクでの蝟集行為が続いている。

(白山地区センターの他、鴨居ダイエー付近、竹山公園付近など数か所あり。)

通報により警察が出動となるが、警察からは敷地内を通行止めすることは可能かという話が出た。地域住民の生活道路にもなっているところなのでそれは難しい。そのため禁止事項を書いた張り紙を掲示することにした。警察としても指導時に役立てることができるとのこと。警察、緑区役所地域振興課、中学校等地域機関と情報交換をこまめに行い対応していく。

地域全体の課題として青少年の問題がある。皆様の協力をお願いしたい。

会長

理解して、良い方向に向かうよう、皆で協力していきましょう。

○会長、緑区役所地域振興課 係長より散会の挨拶